

インフルエンザ情報 2014 年 第 5 週 (1 月 27 日 ~ 2 月 2 日)

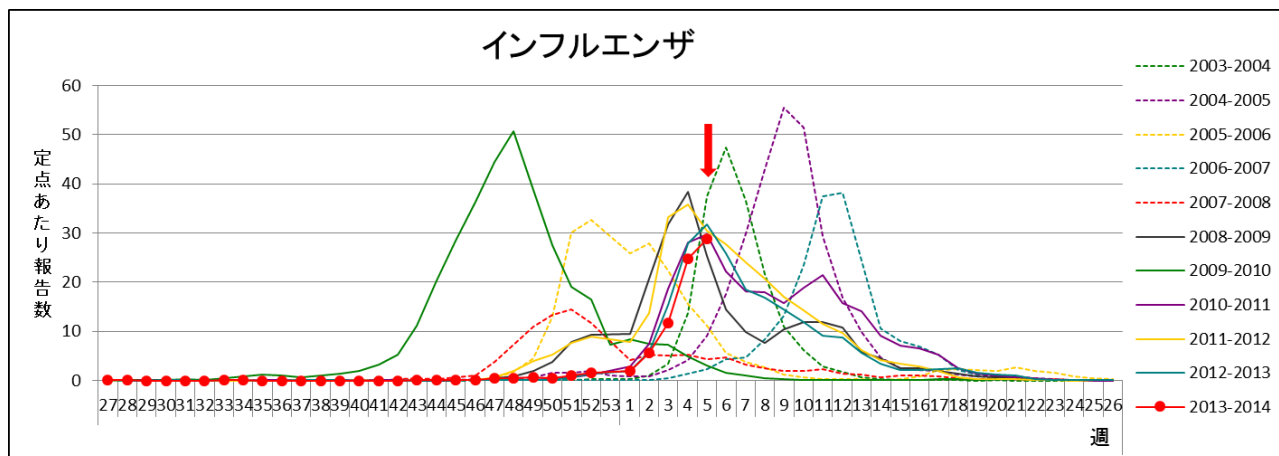
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 2398 名(定点あたり 24.73 → 28.89 人)の発生があり、前週より増加しました。
- インフルエンザによる入院患者 8 名の報告がありました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 88 施設でありました。
- 今週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは B 型が 9 株でした。

【第 6 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 52 施設でありました(2 月 3 日~5 日)。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 2398 名(定点あたり 24.73 → 28.89 人)の発生があり、前週より増加しました(83 定点医療機関報告)。岡山県では、第 51 週(12/16~12/22)以降、患者増加が続いており、第 2 週以降は急激に増加しています。県では 1 月 16 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、備北地域(41.60 人)、倉敷市(36.44 人)、美作地域(35.50 人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。真庭地域を除く全ての地域で報告数が増加し、流行が拡大しています。

第 5 週の学校等の臨時休業は 88 施設から報告があり、前週の 59 施設から大幅に増加しました。第 6 週も臨時休業が多発していることから、今後も幼稚園児、小学生、中学生を中心に患者の増加が懸念されます。『外出後や食事前の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠をとる。』など、感染予防に努めて下さい。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザは流行期に入っています。さらなる感染予防に努めて下さい。

◎外から帰ったときや、食事前には手洗い・うがいを心がけましょう。

アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。

◎インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します。

周囲の方々のためにも普段から「咳エチケット」を心がけましょう。

◎可能な限り人混みを避け、マスクを着用しましょう。体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

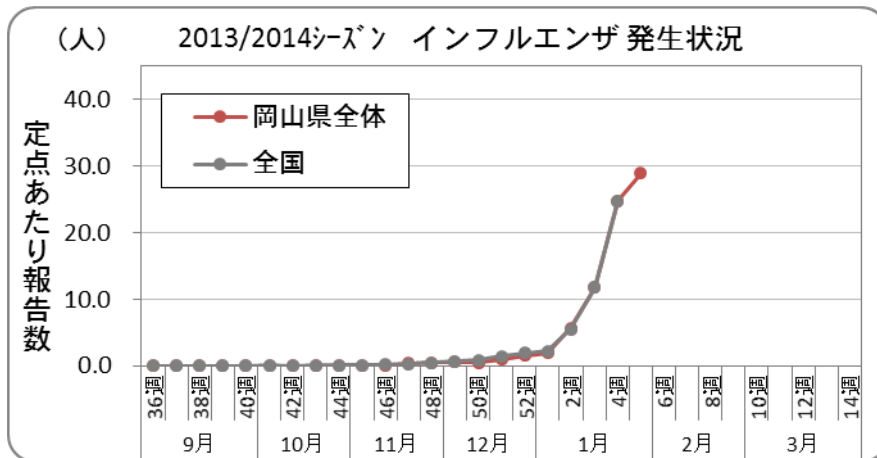
ワクチンは、感染を完全に防ぐことはできませんが、発熱期間の短縮や、重症化を防ぐことには効果があると言われています。

1. 地域別発生状況

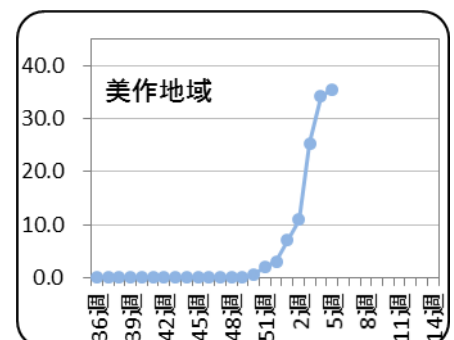
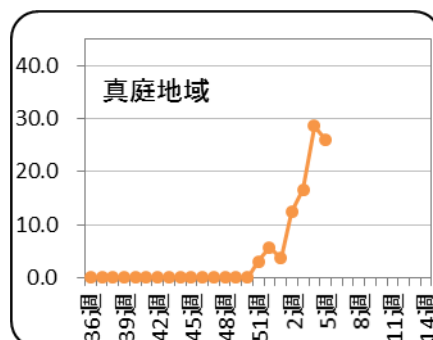
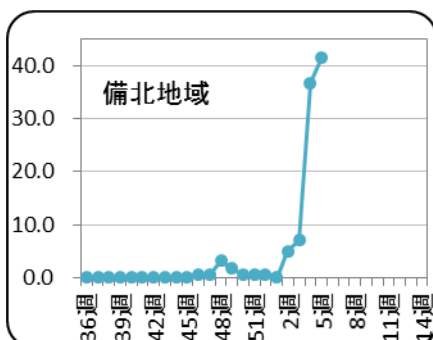
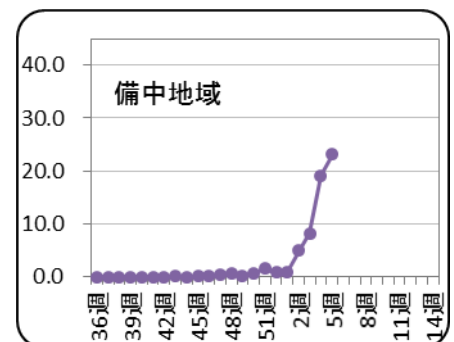
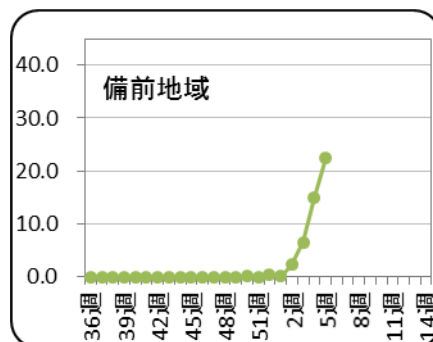
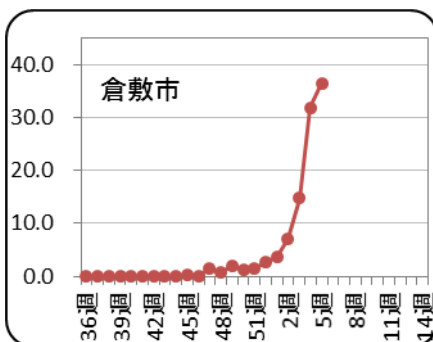
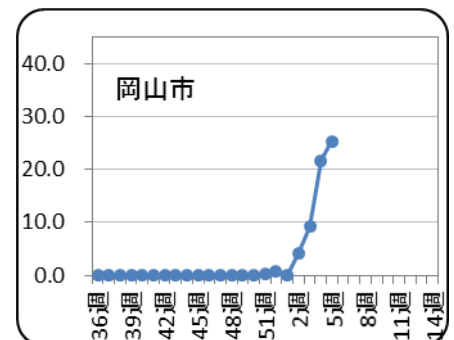
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2398		備 中	患者数	278	
	定点あたり	28.89			定点あたり	23.17	
岡山市	患者数	558		備 北	患者数	208	
	定点あたり	25.36			定点あたり	41.60	
倉敷市	患者数	583		真 庭	患者数	78	
	定点あたり	36.44			定点あたり	26.00	
備 前	患者数	338		美 作	患者数	355	
	定点あたり	22.53			定点あたり	35.50	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 → 1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑

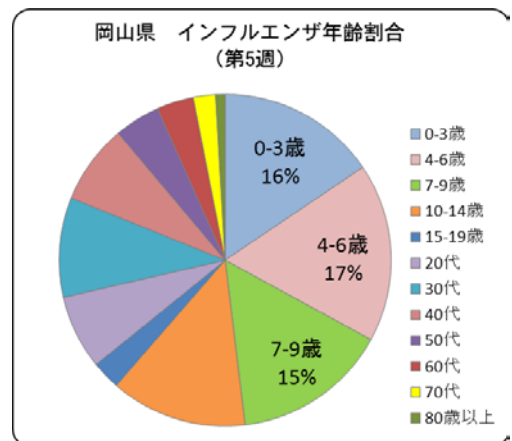
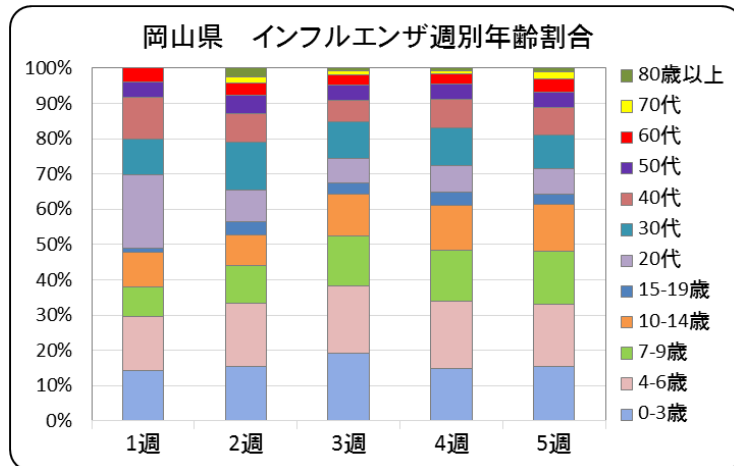


全国集計第4週(1/20～1/26)速報値によると、全国では定点あたり24.81人であり、第43週以降増加が続いています。地域別では、沖縄県(54.12人)、大分県(39.62人)、宮崎県(37.86人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、第2週、第3週にひきつづき、第4週も47都道府県全てで前週より増加しました。



2. 年齢別発生状況

第5週の年齢別割合は、4-6歳 17%、0-3歳 16%、7-9歳 15%の順で多くなっています。前シーズンと比べて、10代の割合が少なく、9歳以下の割合が多くなっています。

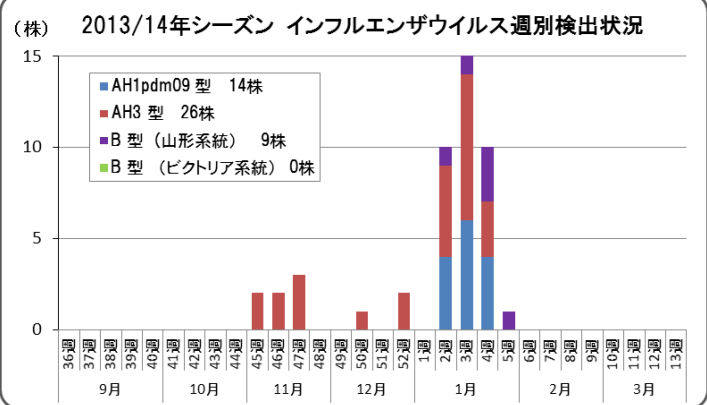


3. インフルエンザウイルス検出状況

第5週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはB型が9株でした。今シーズンでこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が26株(53%)、AH1pdm09型が14株(29%)、B型が9株(18%)となっています。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、1月以降にAH1pdm09型の検出割合が増加し、AH1pdm09型 40%、AH3型 36%、B型 24%の順に多く検出されています。

AH1pdm09型のインフルエンザウイルスは、4年前の2009/2010年シーズンに新型インフルエンザとして大流行(検出割合 98%)しましたが、2011年4月以降は、通常の季節性インフルエンザの扱いとなったウイルスです。その後の2シーズンは低い検出率(0.2~2.4%)でしたが、今シーズンは3年ぶりに検出率が高くなっています。(平成26年2月6日現在)



[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)\)](#)

【第5週判明分】

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	保健所管内	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスB型	2014年第2週(1/6~1/12)	2014/1/11	備中	中学生	男	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2014年第3週(1/13~1/19)	2014/1/14	備中	小学生	男	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2014年第3週(1/13~1/19)	2014/1/14	岡山市	幼児	男	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2014年第3週(1/13~1/19)	2014/1/15	岡山市	小学生	女	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2014年第3週(1/13~1/19)	2014/1/15	岡山市	小学生	女	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	岡山市	小学生	女	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	備中	小学生	男	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	備中	小学生	女	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2014年第5週(1/27~2/2)	2014/1/27	岡山市	小学生	女	山形系統

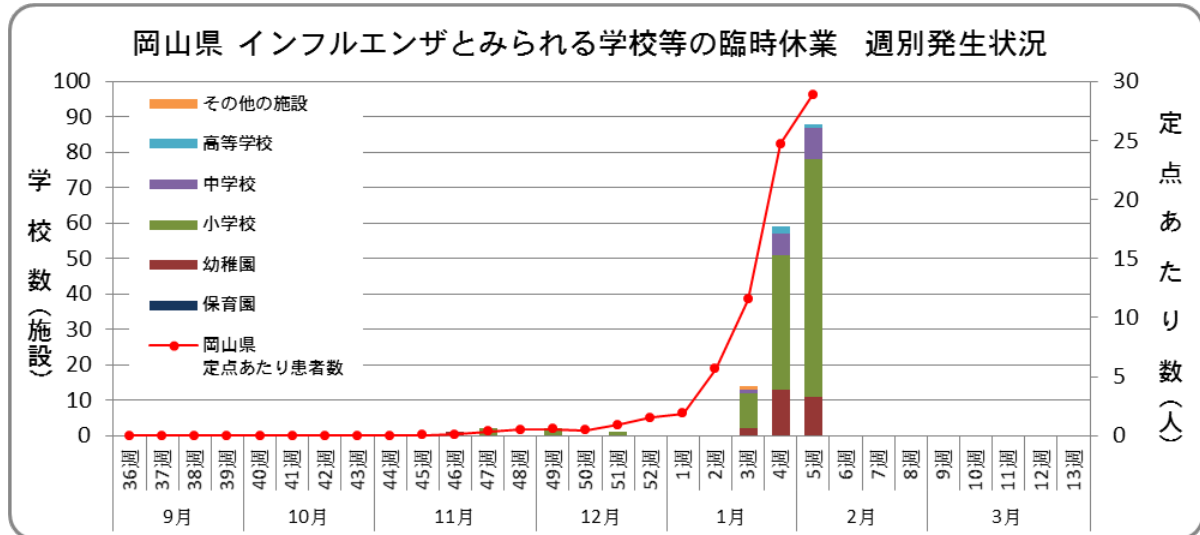
4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 88 施設でありました。

真庭地域では、今シーズン初めての臨時休業報告となっています。

【第 5 週 臨時休業施設数】

▽岡山市 24 ▽倉敷市 20 ▽玉野市 2 ▽備前市 4 ▽吉備中央町 2 ▽高梁市 2 ▽総社市 2
▽笠岡市 1 ▽津山市 13 ▽瀬戸内市 2 ▽浅口市 1 ▽美作市 2 ▽美咲町 2 ▽鏡野町 4
▽勝央町 1 ▽新見市 1 ▽真庭市 5



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1434	2574	1080	1916	88	167	3	8	27	47	58	112	H25. 11. 13
岡山市	457	926	326	633	24	53	0	1	4	7	20	45	H26. 1. 14
倉敷市	265	453	220	358	20	35	0	0	3	8	17	27	H25. 11. 18
備前地域	150	211	113	156	10	15	0	0	5	6	5	9	H26. 1. 16
備中地域	99	207	76	157	4	13	0	0	1	6	3	7	H25. 11. 13
備北地域	16	27	15	24	3	5	1	2	1	2	1	1	H26. 1. 23
真庭地域	49	49	39	39	5	5	0	0	4	4	1	1	H26. 1. 27
美作地域	398	701	291	549	22	41	2	5	9	14	11	22	H25. 12. 20

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第 5 週：88 施設

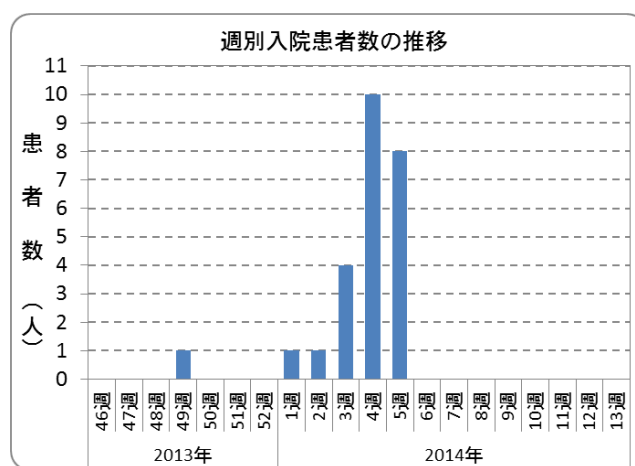
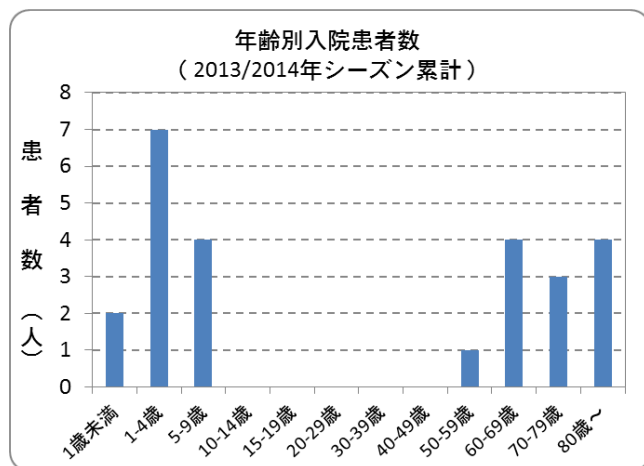
累計：167 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	11	27	67	120	9	16	1	3	0	1

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、8 名（1～4 歳 2 名、5～9 歳 1 名、50 代 1 名、60 代 1 名、70 代 1 名、80 歳以上 2 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 5 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		2	1						1	1	1	2	8
ICU 入室									1				1
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)									1				1
頭部 MRI 検査(予定含)		1							1				2
脳波検査 (予定含)													
いずれにも該当せず		1	1							1	1	2	6

* 重複あり

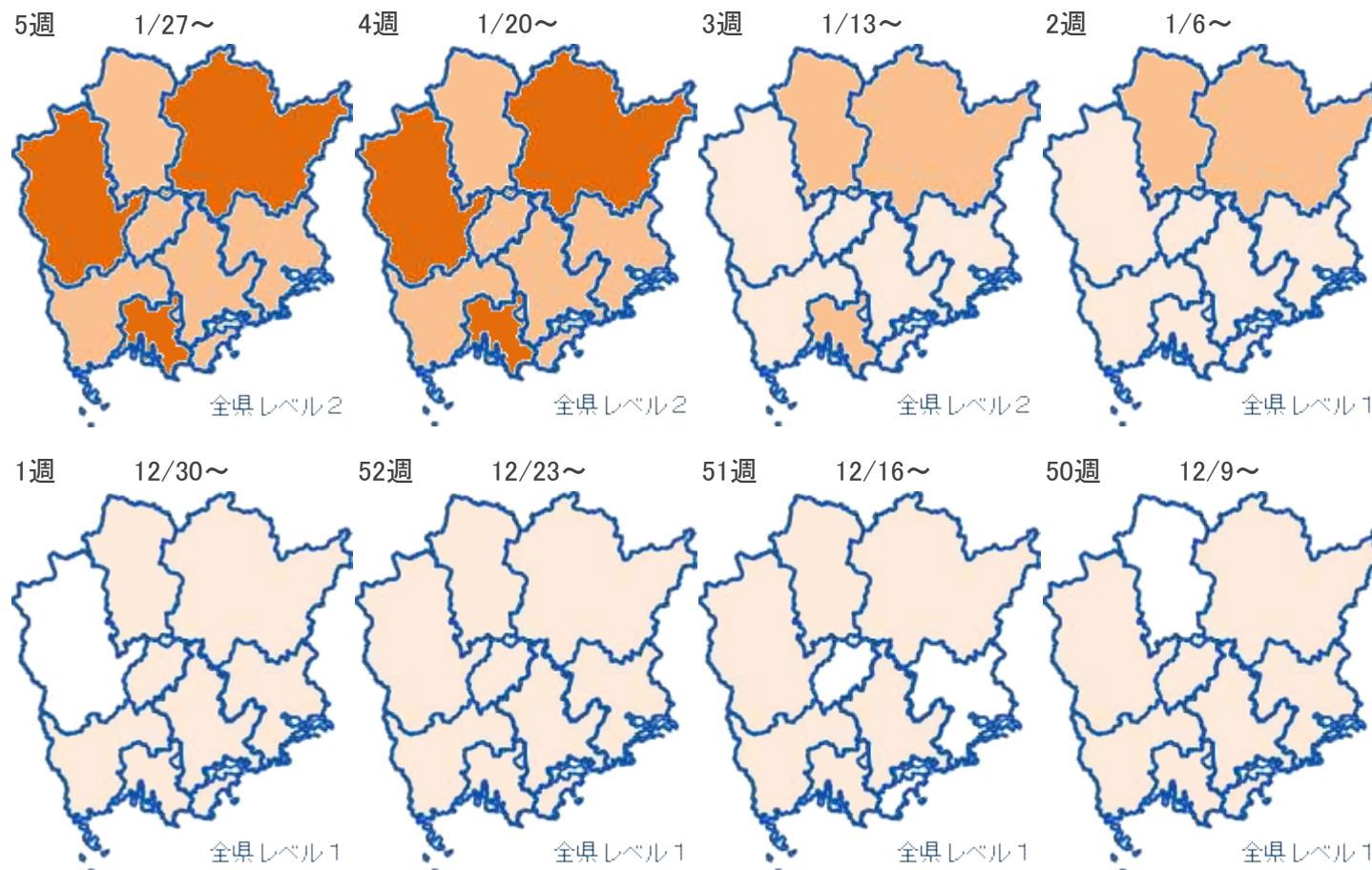
【平成 25 年 9 月 2 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	7	4						1	4	3	4	25
ICU 入室									1				1
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)		1	1						1		1		4
頭部 MRI 検査(予定含)	1	1							1		1		4
脳波検査 (予定含)	1	1											2
いずれにも該当せず	1	5	3							4	2	4	19

* 重複あり



インフルエンザ



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。